44 スマート農業の総合推進対策

【令和4年度予算概算決定額 1,404(1,359)百万円】 (令和3年度補正予算額 4,850百万円)

く対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、産地ぐるみでの先端技術の導入実証やスマート農業普及のための環境整備等について総合的に取り組みます。

技

紨

発

実証

実装

普及

E

向

けた環境整備

く事業目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践「令和7年まで]

く事業の内容>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

スマート農業の社会実装を加速化するため、産地ぐるみでの先端技術の現場実証 等を行います。

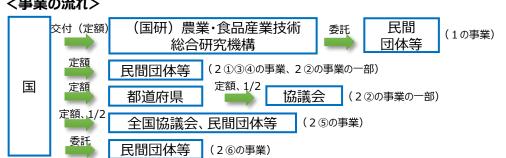
- ① スマート農業加速化実証プロジェクト
- ② スマート農業産地モデル実証
- ③ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

2. スマート農業普及のための環境整備

スマート農業を普及させるための環境整備を行います。

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
- ② データ駆動型農業の実践・展開支援
- ③ スマートグリーンハウス先駆的開拓推進
- ④ 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
- ⑤ データ駆動型土づくり推進
- ⑥ スマート農業教育推進

<事業の流れ>



く事業イメージン

スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

① スマート農業加速化 実証プロジェクト

スマート農業技術導入による 経営改善効果等を分析・検証



② スマート農業産地 モデル実証

経営体の枠を超えた産地内での シェアリングや作業集約による生 産性向 トやコスト低減等を実証



③ ペレット堆肥活用促進の ための技術開発・実証

ペレット堆肥の受発注や物流を最 適化するシステムの開発、帰り荷 となる敷料の探索、現地実証















スマート農業拠 研修会の開催等

スマート農業の社会実装・実践

「お問い合わせ先〕農林水産技術会議事務局研究推進課(03-3502-7462)